

**2023年度 関西四大学
「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書**

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で15年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和4年における組織犯罪の情勢（第2章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯検挙人員は前年より減少し、大麻事犯検挙人員も2014年以降、増加傾向にありましたが2022年（令和4年）は5,342人となり前年（5,482人）を若干、下回る結果となりました。しかしながら、29歳以下の検挙者数が全体の7割を占め、また、20歳未満については912人となり、2018年（平成30年）の429人から5年間で倍増しています。これらの推移より、引き続き、若年層への薬物乱用防止の啓発活動が重要であるといえます。

大麻販売の組織化、巧妙化が進み、例えばSNS上では絵文字や隠語を使って大麻や大麻成分入り薬物や食品などを売買するサイトが現れるなど、販売ルートは多様化しています。若年層が大麻や危険ドラッグ等を入手することは難しいことではなくなり、今後も動向を引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

今回も、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接している一方で、引き続き、ごく少数であるが薬物に接触する危険性がこれまで同様に存在していることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

関西大学学長	前田 裕
関西学院大学学長	森 康俊
同志社大学学長	植木 朝子
立命館大学学長	仲谷 善雄

I 調査対象

対象者数	: 2023年度入学生 27,554名(関西四大学合計人数)
実施期間	: 各大学により定められた期間(2023年4~5月)
調査方法	: WEBアンケート
回答数(率)	: 20,954名(76.0%)

II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
非常に関心がある	4.9%	2022年度との比較-0.4ポイント
ある程度関心がある	30.7%	2022年度との比較-2.4ポイント
どちらともいえない	28.3%	2022年度との比較-0.1ポイント
あまり関心がない	15.3%	2022年度との比較+1.4ポイント
ほとんど関心がない	20.7%	2022年度との比較+1.6ポイント

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の合計(35.6%)が「あまり関心がない」「ほとんど関心がない」の合計(36%)を下回り、薬物問題への関心がわずかであるが低下している。

◇質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	75.2%	2022年度との比較-2.6ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	86.2%	2022年度との比較+1.0ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシツシュなど)	92.5%	2022年度との比較+0.4ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	80.9%	2022年度との比較+2.0ポイント
あへん類(ヘロインなど)	60.5%	2022年度との比較+0.2ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	21.0%	2022年度との比較+1.0ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	63.4%	2022年度との比較+10.5ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	62.0%	2022年度との比較-4.6ポイント
知っているものはない	4.0%	2022年度との比較-0.1ポイント

脱法ハーブなどの危険ドラッグや有機溶剤という名称に対する認知度が2年連続で低下している一方で、危険な名称に関する全般的な認知度が上がっている(特にMDMA)。

◇質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	89.4%	2022年度との比較+1.2ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	0.7%	2022年度との比較+0.1ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	8.4%	2022年度との比較-0.1ポイント

昨年度同様「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、「1回ぐらいならかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生も依然として一定数存在している。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	93.6%	2022年度との比較+0.5 ポイント
購入を勧められたことがある	0.5%	2022年度との比較+0.1 ポイント
使用を誘われたことがある	0.8%	2022年度との比較+0.0 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.2%	2022年度との比較+0.1 ポイント
わからない	4.9%	2022年度との比較-0.2 ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答が最も多いが、「購入を勧められた」「使用を誘われた」「無理やり使わされた」と回答した学生も少数ながら存在している。

◇質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
いない	89.2%	2022年度との比較+0.4 ポイント
いる(いた)	3.2%	2022年度との比較+0.1 ポイント
わからない	7.6%	2022年度との比較-0.1 ポイント

「いない」という回答が最も多いが、「いる(いた)」との回答もあり、薬物の所持・使用の可能性が、学生の身近にあることをうかがわせる。

◇質問15(イ) 【質問15(ア)で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】
どの薬物でしたか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	8.4%	2022年度との比較0.0 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	11.4%	2022年度との比較-1.7 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	50.8%	2022年度との比較-3.2 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	4.3%	2022年度との比較-1.0 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	1.5%	2022年度との比較+0.4 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	3.3%	2022年度との比較-0.9 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	4.6%	2022年度との比較+0.5 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	4.9%	2022年度との比較-0.8 ポイント
わからない	33.8%	2022年度との比較+5.3 ポイント

依然として大麻の比率が高い傾向にある。

◇質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
警察の相談窓口	35.9%	2022年度との比較+1.7 ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	12.7%	2022年度との比較+1.3 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	8.5%	2022年度との比較0.0 ポイント
医療機関の相談窓口	12.5%	2022年度との比較+0.0 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	8.5%	2022年度との比較-0.7 ポイント
知らない	55.5%	2022年度との比較-1.7 ポイント

警察と並んで行政機関や医療機関が窓口として認知されている。

◇質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	61.2%	2022年度との比較-0.7 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	41.9%	2022年度との比較-1.2 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	15.2%	2022年度との比較-0.9 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	14.5%	2022年度との比較-0.9 ポイント
特になし	20.7%	2022年度との比較+0.7 ポイント

従来と大きな変化はなく、健康被害や事件・事故事例の情報提供への関心が高い。薬物関連の相談窓口(質問17)の内容とともに、このような情報発信は引き続き重要だと考えられる。

◇質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
不可能だ	39.3%	2022年度との比較+1.6 ポイント
かなり難しい	21.7%	2022年度との比較-2.0 ポイント
難しいが手に入る	27.3%	2022年度との比較+1.3 ポイント
手に入る	11.6%	2022年度との比較-0.4 ポイント

入手不可能だと考えている人が増加しているが、「不可能だ」「かなり難しい」を併せた傾向はほぼ横ばいである。また、難しいが手に入ると考えている人が増加傾向にある。

◇質問19(イ) 【質問19(ア)で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

<回答>	2023年度	参考値
SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	80.7%	2022年度との比較-8.5 ポイント
SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	9.0%	2022年度との比較-0.4 ポイント
友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	7.6%	
繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	20.5%	
それ以外	3.6%	2022年度との比較-3.6 ポイント

入手可能と考えた理由について、「友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから」「繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから」という回答が新設され、引き続き傾向の観察が必要である。

◇質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つ選択)

<回答>	2023年度	参考値
知っている	71.2%	2022年度との比較-2.2 ポイント
知らなかった	28.8%	2022年度との比較+3.5 ポイント

危険ドラッグに対する罰則の認知度は昨年と比べやや減少傾向となっており、引き続き危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要があると考える。

共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	非常に関心がある	1,029	4.9%
2	ある程度関心がある	6,441	30.7%
3	どちらともいえない	5,935	28.3%
4	あまり関心がない	3,202	15.3%
5	ほとんど関心がない	4,347	20.7%
6	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	15,759	75.2%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	18,062	86.2%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	19,374	92.5%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	16,944	80.9%
5	あへん類(ヘロインなど)	12,670	60.5%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4,404	21.0%
7	MDMA(エクスタシーなど)	13,279	63.4%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	12,992	62.0%
9	知っているものはない	840	4.0%
	合計	20,954	100.0%

【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	かっこいい	138	0.7%
2	気持ち良くなれる気がする	1,223	5.8%
3	ダイエットに効果がある	108	0.5%
4	眠気覚ましに効果がある	168	0.8%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	153	0.7%
6	心や体に害がある	15,188	72.5%
7	犯罪に巻き込まれる	15,570	74.3%
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	14,727	70.3%
9	1回でも使うと止められなくなる	15,695	74.9%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	14,014	66.9%
11	特にない	1,483	7.1%
12	わからない	685	3.3%
	合計	20,954	100.0%

共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	罰せられる	19,918	95.1%
2	罰せられるものもある	530	2.5%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	16	0.1%
4	罰せられることはない	63	0.3%
5	わからない	427	2.0%
6	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	あった	20,104	95.9%
2	なかった	850	4.1%
3	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	19,615	93.6%
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	17,840	85.1%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	17,065	81.4%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	13,614	65.0%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	18,428	87.9%
6	知らなかった	588	2.8%
	合計	20,954	100.0%

共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	小学校の授業	13,448	64.2%
2	中学校の授業	18,635	88.9%
3	高校の授業	18,068	86.2%
4	大学が配布しているリーフレット等	532	2.5%
5	大学での啓発ビデオ	209	1.0%
6	大学での講演会	155	0.7%
7	友達、仲間、先輩、後輩	1,110	5.3%
8	家族	1,495	7.1%
9	ポスター、パンフレット	2,941	14.0%
10	本、雑誌	1,531	7.3%
11	新聞	1,443	6.9%
12	テレビ	7,153	34.1%
13	ラジオ	281	1.3%
14	インターネット	4,544	21.7%
15	SNS	3,049	14.6%
16	その他	141	0.7%
	合計	20,954	100.0%

共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知りたい	5,468	26.1%
2	知りたいとは思わない	6,000	28.6%
3	どちらでもない	9,486	45.3%
4	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	10,647	50.8%
2	家庭	2,302	11.0%
3	地域活動、自治体等の広報誌	1,984	9.5%
4	図書館、公民館	1,485	7.1%
5	保健所	2,060	9.8%
6	警察	4,461	21.3%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,558	12.2%
8	病院	2,671	12.7%
9	インターネット	5,526	26.4%
10	講演会、座談会	2,603	12.4%
11	特にない	2,873	13.7%
12	その他	222	1.1%
	合計	20,954	100.0%

共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物が簡単に手に入るようになっている	14,185	67.7%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	2,112	10.1%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	7,370	35.2%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	2,880	13.7%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3,918	18.7%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	6,183	29.5%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1,984	9.5%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	9,061	43.2%
9	学校や家庭がおもしろくない	3,351	16.0%
10	わからない	1,130	5.4%
11	その他	392	1.9%
	合計	20,954	100.0%

共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	18,738	89.4%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	140	0.7%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,754	8.4%
4	その他	322	1.5%
5	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>
(どちらかを選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	ない	18,892	90.2%
2	ある	2,062	9.8%
3	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘われたり、勧められたことはない	19,609	93.6%
2	購入を勧められたことがある	95	0.5%
3	使用を誘われたことがある	175	0.8%
4	無理やり使わされたことがある	49	0.2%
5	わからない	1,026	4.9%
6	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	19,543	93.3%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	752	3.6%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	89	0.4%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	100	0.5%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	219	1.0%
6	わからない	723	3.5%
7	その他	146	0.7%
	合計	20,954	100.0%

共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	いない	18,689	89.2%
2	いる(いた)	681	3.2%
3	わからない	1,584	7.6%
4	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

共通質問15(イ) どの薬物でしたか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	57	8.4%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	77	11.4%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	343	50.8%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	29	4.3%
5	あへん類(ヘロインなど)	10	1.5%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	22	3.3%
7	MDMA(エクスタシーなど)	31	4.6%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	33	4.9%
9	わからない	228	33.8%
	合計	675	100.0%

共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	使用をやめるよう説得する	11,894	56.8%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2,502	11.9%
3	警察に通報する	2,732	13.0%
4	医療機関や保健所等に連絡する	567	2.7%
5	個人の自由であるので放っておく	1,517	7.2%
6	わからない	1,504	7.2%
7	その他	238	1.1%
8	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	警察の相談窓口	7,528	35.9%
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	2,654	12.7%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	1,780	8.5%
4	医療機関の相談窓口	2,621	12.5%
5	民間の支援団体の相談窓口	1,773	8.5%
6	知らない	11,626	55.5%
7	その他	114	0.5%
	合計	20,954	100.0%

共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物乱用による健康被害情報	12,815	61.2%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	8,788	41.9%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3,190	15.2%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	3,036	14.5%
5	特になし	4,330	20.7%
6	その他	196	0.9%
	合計	20,954	100.0%

共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	不可能だ	8,228	39.3%
2	かなり難しい	4,555	21.7%
3	難しいが手に入る	5,730	27.3%
4	手に入る	2,441	11.6%
5	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

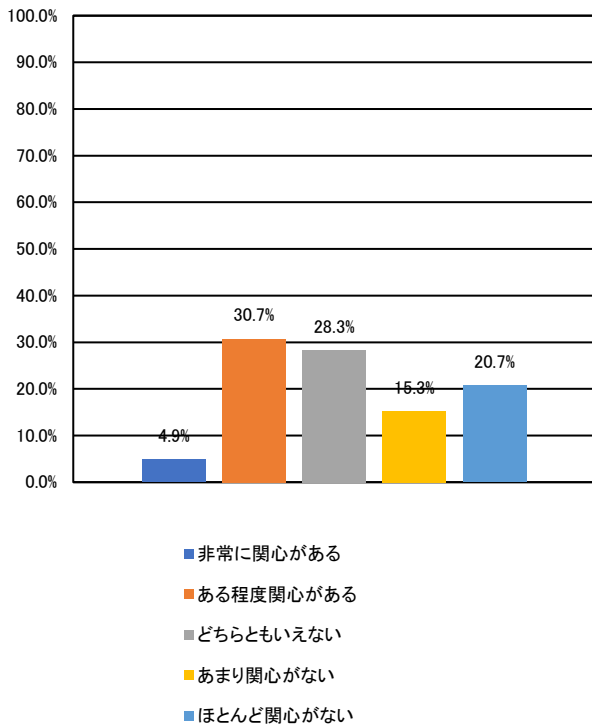
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。
(複数選択可)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	6,533	80.7%
2	SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	731	9.0%
3	友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	615	7.6%
4	繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	1,662	20.5%
5	それ以外	292	3.6%
	合計	8,094	100.0%

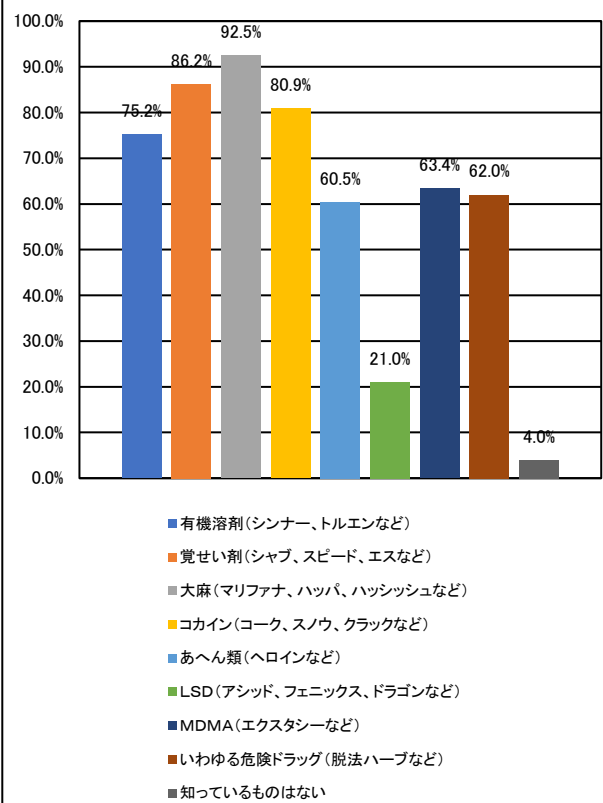
共通質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。
(1つ選択)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知っている	14,922	71.2%
2	知らなかった	6,032	28.8%
3	不明	0	0.0%
	合計	20,954	100.0%

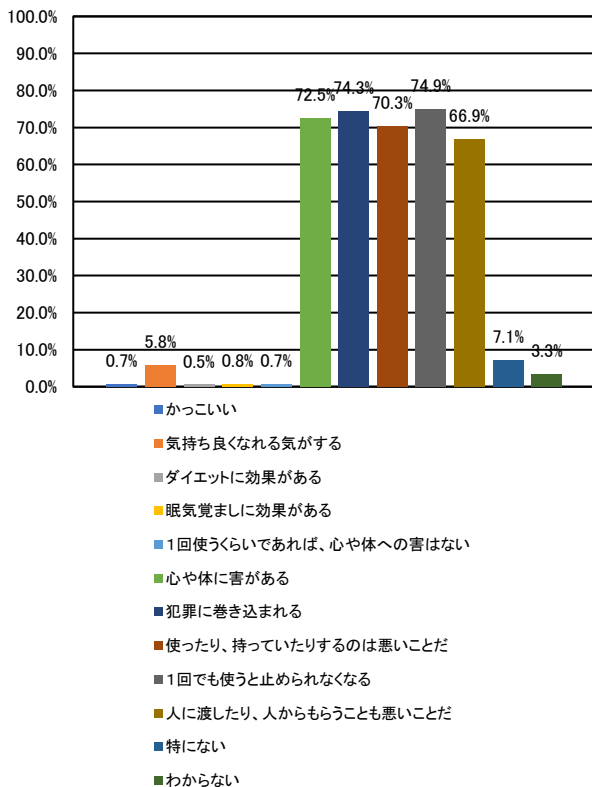
共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)N=20,954



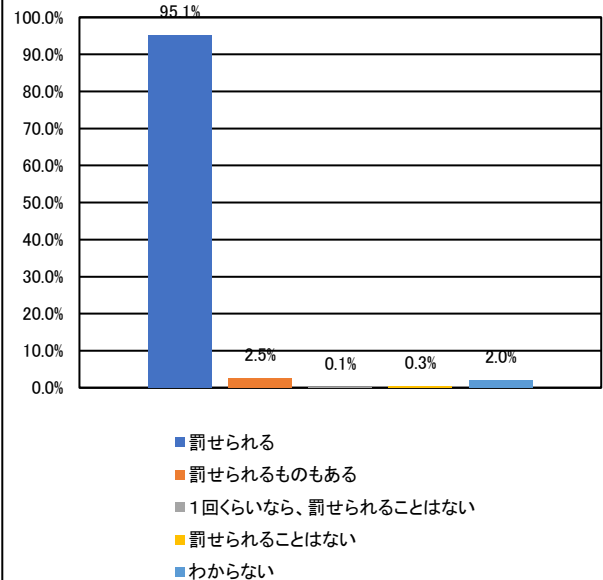
共通質問2 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)N=20,954



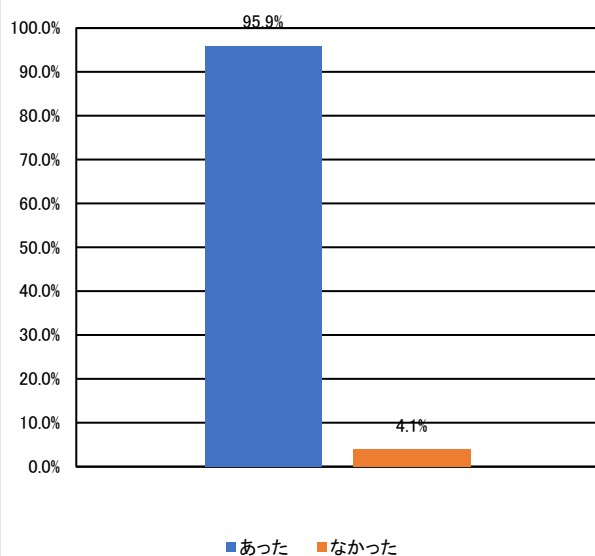
共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可)N=20,954



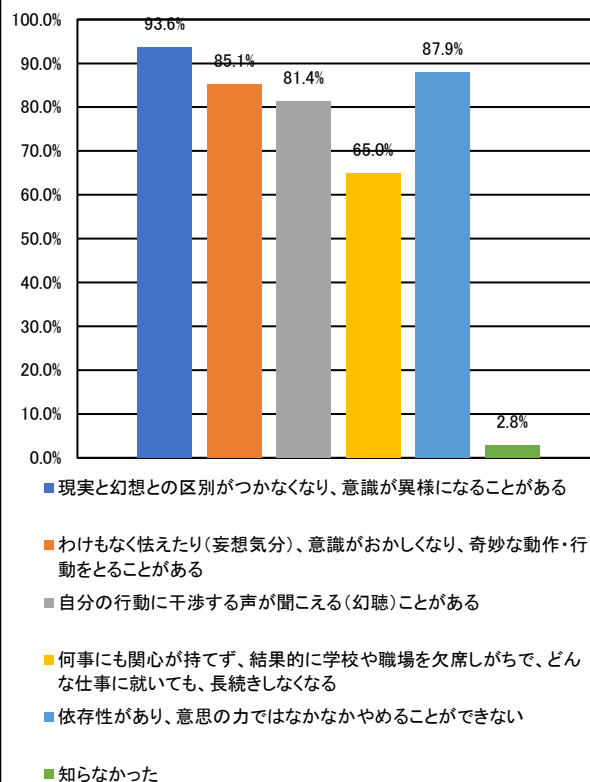
共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなと思いますか。(1つ選択)N=20,954



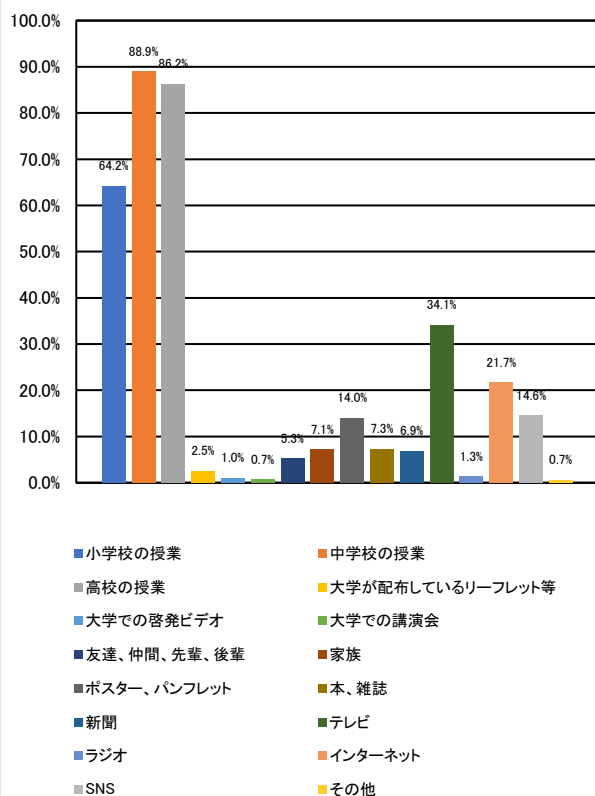
共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかを選択)N=20,954



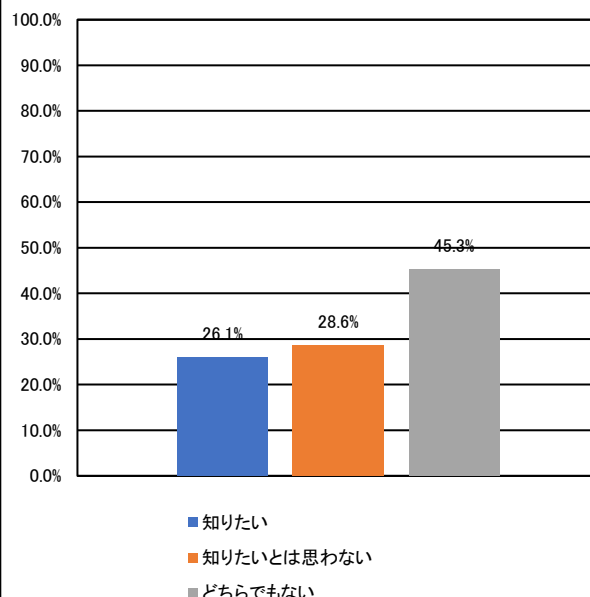
共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。(複数選択可)N=20,954



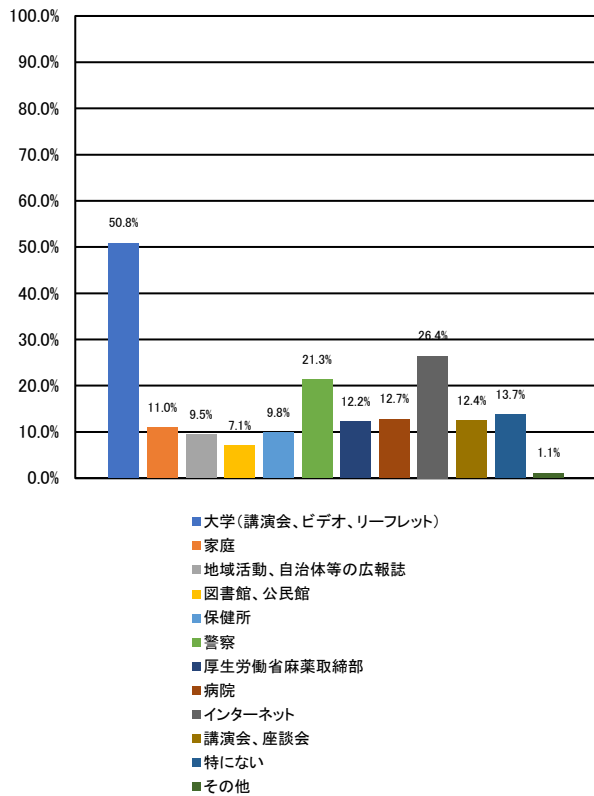
共通質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可)N=20,954



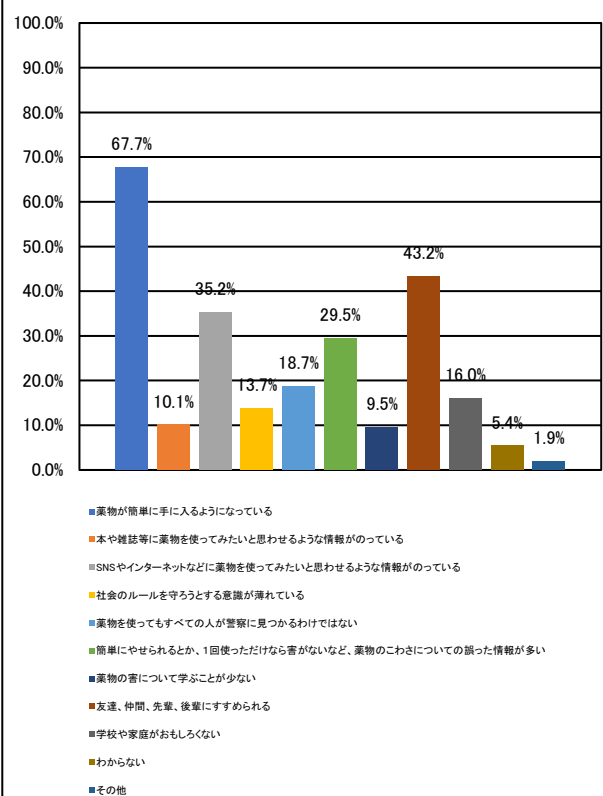
共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択)N=20,954



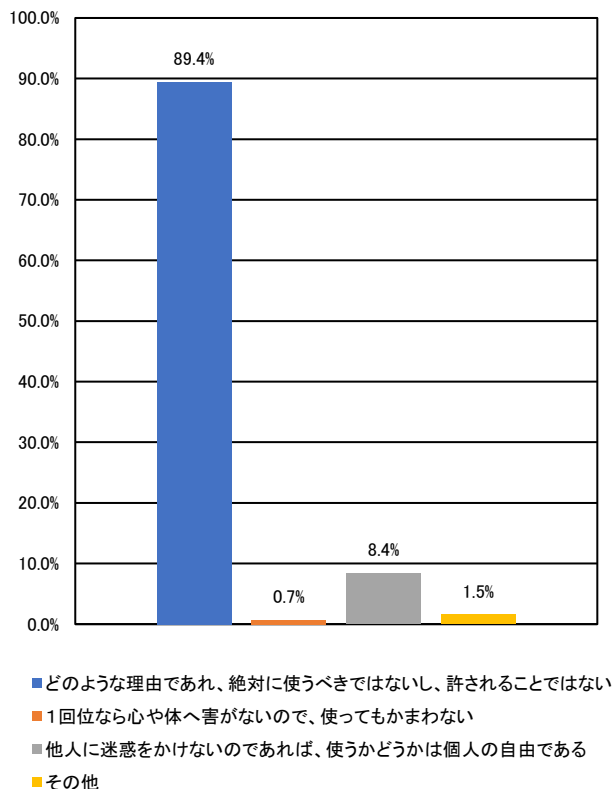
共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可)N=20,954



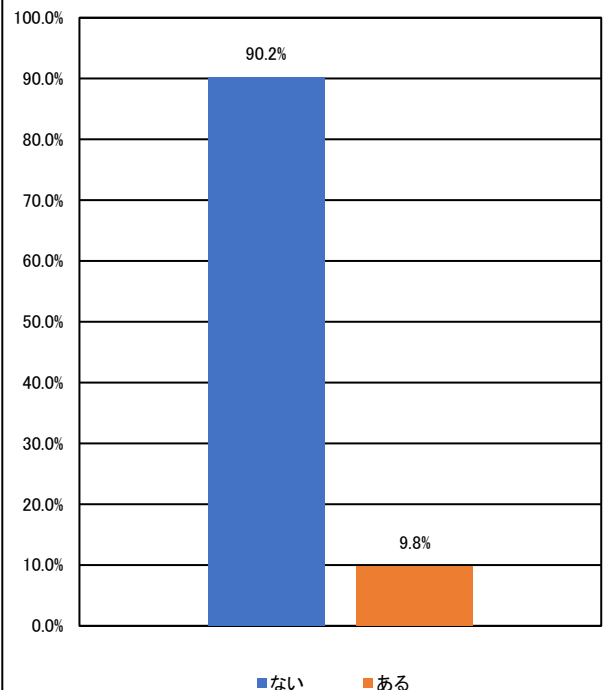
共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いませんか。(複数選択可)N=20,954



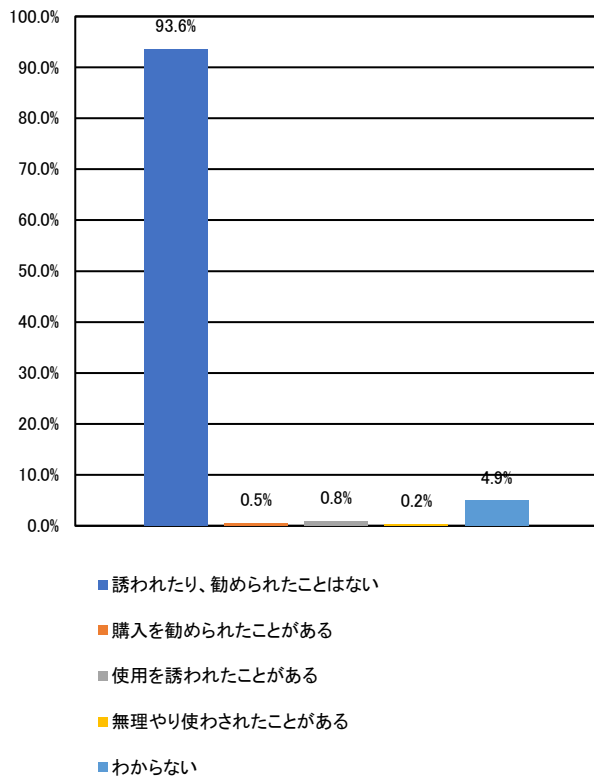
共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)N=20,954



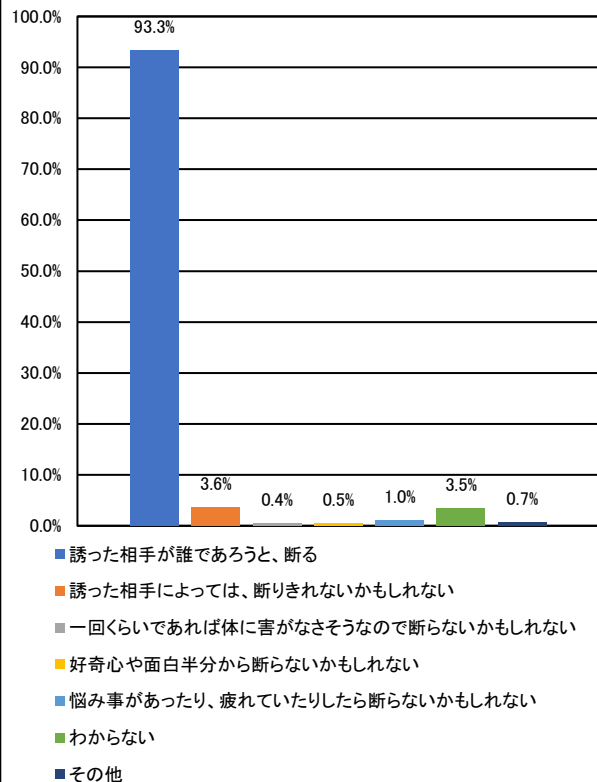
共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます>(どちらかを選択)N=20,954



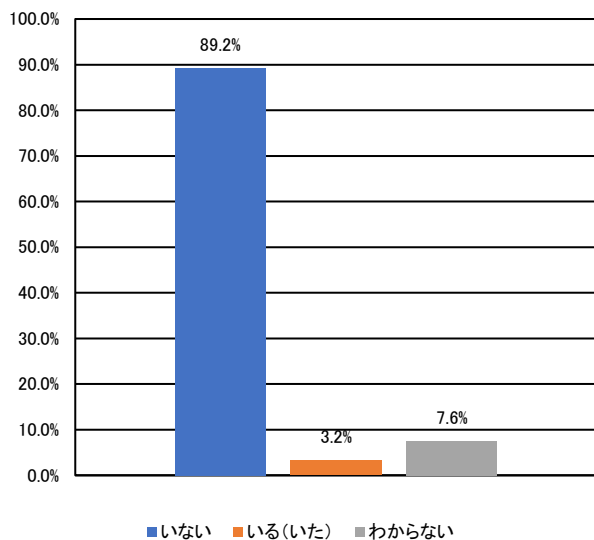
共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)N=20,954



共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可)N=20,954

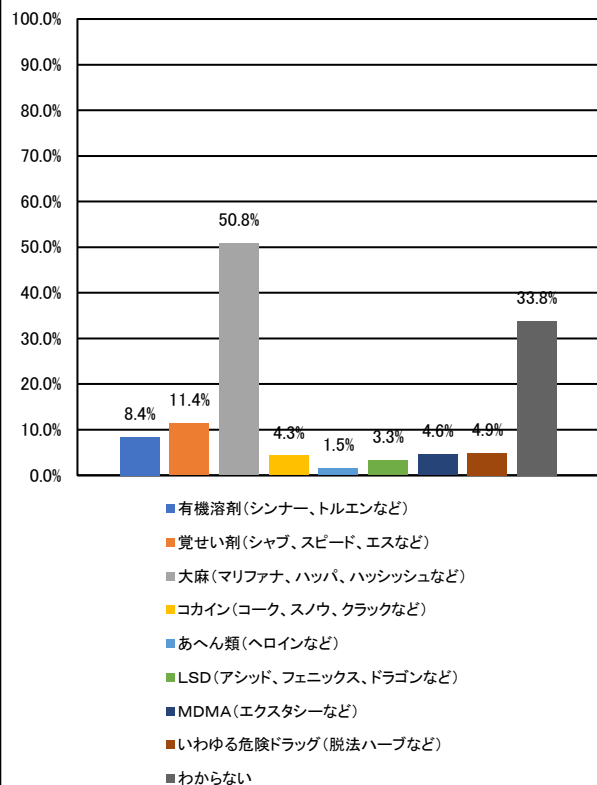


共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)N=20,954

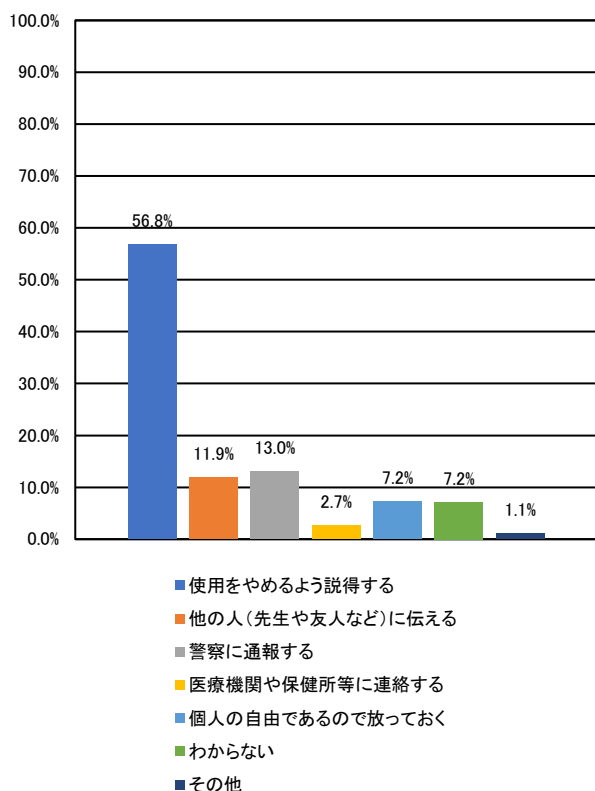


【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】

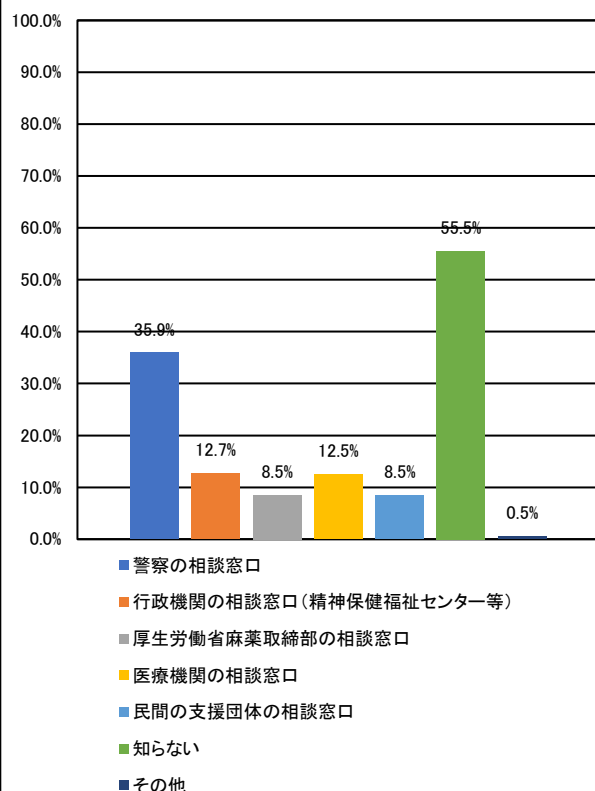
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数選択可)N=675



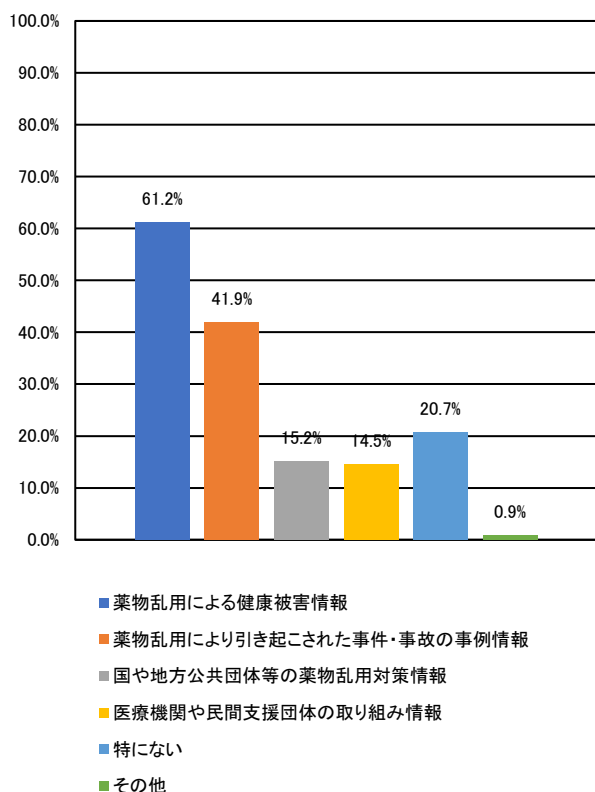
共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択) N=20,954



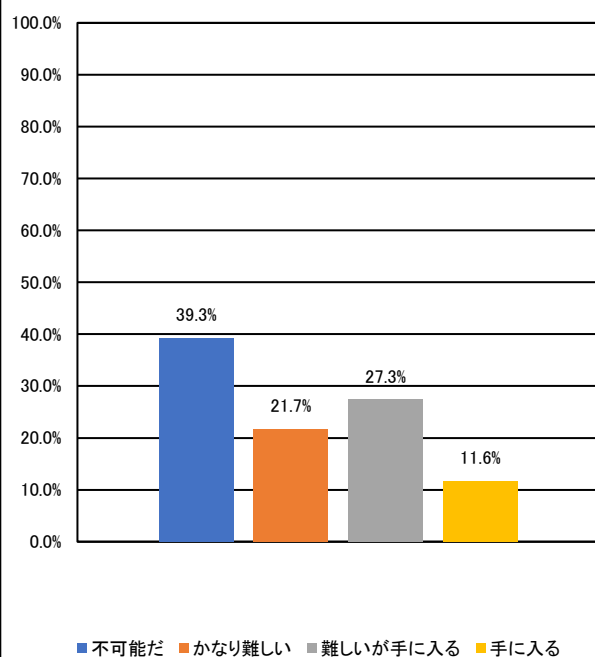
共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可) N=20,954



共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可) N=20,954

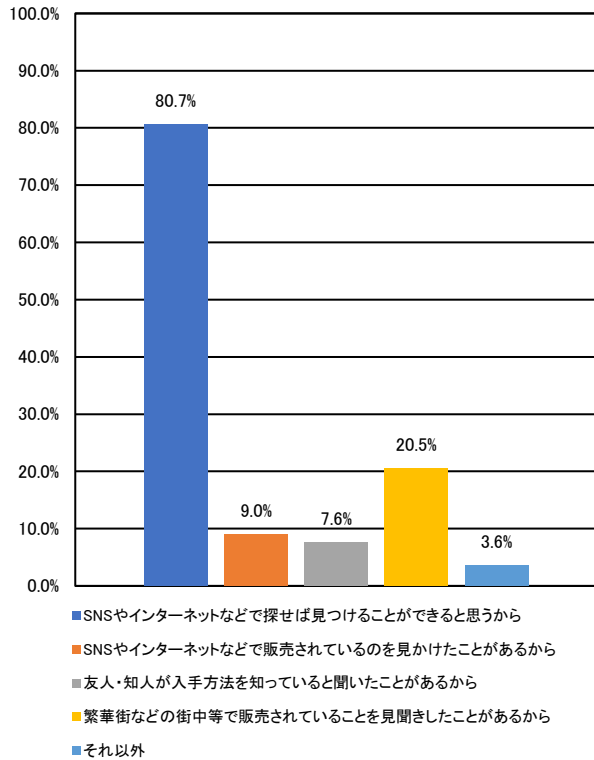


共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択) N=20,954



【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】

共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)N=8,094



共通質問20 あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になったことを知っていますか。(1つ選択)N=20,954

